

消費税減税実現のチャンス！

「なくす会」が選挙公約した立憲議員に要請 国会の変化を実感

消費税なくす全国の会と消費税廃止各界連絡会(各界連)は11日、国会議員要請を行いました。総選挙で消費税減税を公約に掲げて当選した立憲民主党の38人の議員(なくす会)と国民民主党、日本維新の会の代表、財務金融委員(各界連)を訪問。立憲民主党の議員室では議員本人や秘書が丁寧に対応してくれて対話が弾み、参加者は「国会の変化を実感した」「消費税減税を実現するチャンス」の情勢に確信を深めました。

「なくす会」は6組で議員要請。前沢淑子事務局長が最初に向かったのは、野間健議員室(鹿児島3区)。秘書に要請内容を話していると野間議員が出てきてくれました。「議員が消費税減税を選挙公約に掲げられて大変励まされました。物価高で本当に生活が大変。消費税を5%に

減税してほしい」と訴え。野間議員はうなずきながら「そうですね。せめて食料品はゼロ税率にするように党内で話し合いたい」と賛同を寄せてくれました。議員室の



壁には保団連作成の「マイナ保険証」のポスターがしっかり貼ってありました。

「消費税は廃止すべき」との声も

津村啓介議員室でも女性秘書が「物価が大変なのはよく分かる。ちょっとした日用品でも値上がりを実感する。物価高だからこそ消費税5%の減税が必要」と笑顔で応えてくれました。

今回の要請行動には福島、東京、神奈川、大阪、京都、兵庫の常任世話人が参加。地元やその周辺選出の議員を訪問。話をしっかり聞いてくれました。

服部常任世話人が訪ねた鎌田さゆり議員(宮城③)「消費税減税はその通り。宮城と福島は近い」と意気投合。松木謙公議員(北海道2)は「消費税は廃止すべき」と言い切りました。

川嶋常任世話人は出かける直前の小宮山泰子議員(埼玉⑦)に会えました。「消費税をフラット(減税の方向で)単一税率にすればインボイスは必要ない」と秘書。「小宮山議員は一貫して消費税増税に反対しています

ね」と話を向けると「消費税増税に反対して民主党を離党したこともある」とのこと。小宮山議員は要請書を手渡すところの写真を撮らせてくれました。

丸山常任世話人が訪問した福田惇太議員室では部屋の中で議員が話を聞いてくれました。「物価高の中で時限的に税率を引き下げることが必要。コメ農家も大変。インボイス廃止も大賛成」と賛同。



「税率10%の負担は重い」と要請に賛同

渡邊、藤原両常任世話人は近畿地方の議員へ。井坂信彦議員の秘書は「国会でも消費税を主張して頑張っている。大事なことだ。日本は消費税率が低いと言われるが、10%は低くない」と要請内容に共感。牧義夫議員秘書は「野党4党で時限的消費税減税法案を提出している。



議員の政策ビラにも掲げている。参院選の1人区で市民と野党共闘で1本化する際、政策に消費税減税を入れるために皆さんの声を上げてほしい」と話していました。

国会要請に先立ち大門みきし参院議員が激励にかけつけ、「103万円の壁が問題になっているが、29年間、なぜ課税最低限を引き上げなかったのか。消費税は年収が100万円以下の人にもかかっている。生計費は非課税、消費税は減税を求めていく」と決意を語りました。

